

# 第2期輝く“ふくろい”創生総合戦略【概要一覧】

3つの挑戦	戦略の柱と施策の方向性	主な取り組み	SDGsとの関係性												
<h2>挑戦1</h2> <h3>「ふくろい人」ひとづくりへの挑戦</h3> <p>次代の袋井を支えるために学び、挑戦する人材を地域ぐるみで育て、呼び込む環境づくりに挑む</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標</th> <th>R元</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業が良く分かると答える生徒の割合（小5～中3）</td> <td>85.0%</td> <td>93.0%</td> </tr> <tr> <td>高校生と協働した事業・イベント数（累計）</td> <td>4回</td> <td>10回（R2～R6）</td> </tr> <tr> <td>協働まちづくり事業の提案件数（累計）</td> <td>17件</td> <td>65件（R2～R6）</td> </tr> </tbody> </table>	主な指標	R元	R6	授業が良く分かると答える生徒の割合（小5～中3）	85.0%	93.0%	高校生と協働した事業・イベント数（累計）	4回	10回（R2～R6）	協働まちづくり事業の提案件数（累計）	17件	65件（R2～R6）	<h3>1-1 新しい時代を生き抜く人づくり</h3> <p>技術革新や国際化が進展する時代に自ら考え、学び、行動する力を持った人材を育てるため、「確かな学力」を身につけると共に「袋井で暮らす豊かさ」への理解と愛着を深める教育を地域ぐるみで取り組む。</p> <h3>1-2 産業や社会を支える人づくり</h3> <p>技術革新や働き方改革の進展により産業、社会の在り方が変化していく中で活躍できる人材を育てていくため、地域、産業界と高校・大学等が人材ニーズ等を共有などの連携を強化し、次代を担う人づくりに取り組む。</p> <h3>1-3 挑戦する人を応援する土壌づくり</h3> <p>高齢化、人口減少進展等により地域・社会の課題も山積する中、誰もが生涯を通じて学び、事業・産業や教養・文化などの活動のほか、暮らしを通じた多様な挑戦をすることで、これからも豊かさを共創し、実感し合えるまちづくりに向けたチャレンジを応援する環境を整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 確かな学力向上プロジェクト（GIGAスクール構想、幼小中一貫教育<sup>ほか</sup>）</li> <li>■ 地域とともにある学校づくりプロジェクト（コミュニティ・スクール、地域住民による放課後学習支援<sup>ほか</sup>）</li> <li>■ 高校魅力化プロジェクト（地域課題解決等の探究的な学び、職業教育の高度化<sup>ほか</sup>）</li> <li>■ 地域人材育成に向けた「知の拠点」活用プロジェクト（新学科の開設支援、デジタル人材等の育成<sup>ほか</sup>）</li> <li>■ ふくろい「やらまいか」プロジェクト（アイデア創出活動支援、リカレント教育<sup>ほか</sup>）</li> <li>■ 文化芸術・スポーツ応援プロジェクト（国際・全国大会の誘致や支援、全国大会出場奨励、総合型地域スポーツクラブとの連携、歴史遺産の保存・活用支援<sup>ほか</sup>）</li> </ul>	
主な指標	R元	R6													
授業が良く分かると答える生徒の割合（小5～中3）	85.0%	93.0%													
高校生と協働した事業・イベント数（累計）	4回	10回（R2～R6）													
協働まちづくり事業の提案件数（累計）	17件	65件（R2～R6）													
<h2>挑戦2</h2> <h3>「しっかり稼ぐ」しごとづくりへの挑戦</h3> <p>新技術や地域資源の活用により生産性の向上と生活の豊かさを両立する「ふくろい」ならではの暮らしの実現に挑む</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標</th> <th>R元</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>製造品出荷額</td> <td>5,880億円/年（H30）</td> <td>6,200億円/年</td> </tr> <tr> <td>主要農産物産出額（算出額の維持）</td> <td>72.8億円/年（H30）</td> <td>71.0億円/年</td> </tr> <tr> <td>観光交流客数</td> <td>4,753千人/年（H30）</td> <td>5,175千人/年</td> </tr> </tbody> </table>	主な指標	R元	R6	製造品出荷額	5,880億円/年（H30）	6,200億円/年	主要農産物産出額（算出額の維持）	72.8億円/年（H30）	71.0億円/年	観光交流客数	4,753千人/年（H30）	5,175千人/年	<h3>2-1 新たな産業と地域社会づくり</h3> <p>Society5.0やSDGsなど、社会や産業の変化を好機として、地域の課題解決と持続的な産業発展を実現するため、地域内外の産学官連携等により、既存の事業活動等の効率化を図るとともに、新規・成長分野の開拓や新たな地域社会システムの革新に向けたチャレンジを進める。</p> <h3>2-2 稼げる農業づくり</h3> <p>本市が強みを持つ産業分野である農業の一層の発展を実現するため、これまでの蓄積を基盤としつつ、新しい技術の積極的な活用や異業種との連携強化による生産性向上と付加価値の創出や国内外の販路開拓、ブランド力向上に取り組む。</p> <h3>2-3 「ふくろい」ならではの暮らしづくり</h3> <p>市民が誇りと愛着を持つ生活文化、地域資源を再確認・発掘し、世界や全国を視野に本市の魅力伝えるものに磨き上げ、市民の定着や関係人口の増加につなげていくため、商品・プログラム開発などの魅力づくりに取り組むとともに、体験・交流機会の提供や環境整備、情報交流を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域の「稼ぐ力」向上プロジェクト（産業イノベーションセンター設置、魅力ある個店づくり、創業・事業承継<sup>ほか</sup>）</li> <li>■ 近未来技術等の社会実装プロジェクト（エコパドリームプロジェクトなど実証事業、スマート自治体、スマートライフ推進<sup>ほか</sup>）</li> <li>■ 農業の未来を創るプロジェクト（スマート農業の推進、担い手育成支援、地産地消の推進<sup>ほか</sup>）</li> <li>■ 世界で戦える農産品と新たなビジネスモデル創出プロジェクト（市場開拓支援、付加価値向上支援、新ビジネスモデル創出支援<sup>ほか</sup>）</li> <li>■ 観光ビジネス創出プロジェクト（新たな商品（観光ツアー）開発、スポーツイベントの開催支援<sup>ほか</sup>）</li> <li>■ ふくろいファンづくりプロジェクト（SNSを活かした情報発信、東京交流会、ふるさと納税促進<sup>ほか</sup>）</li> </ul>	
主な指標	R元	R6													
製造品出荷額	5,880億円/年（H30）	6,200億円/年													
主要農産物産出額（算出額の維持）	72.8億円/年（H30）	71.0億円/年													
観光交流客数	4,753千人/年（H30）	5,175千人/年													
<h2>挑戦3</h2> <h3>「支え合い」誰もが活躍するまちづくりへの挑戦</h3> <p>人生100年時代に全ての世代、外国人市民、誰もが元気に役割をもって活躍できる社会・地域の仕組みづくりに挑む</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標</th> <th>R元</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>袋井・森地域シルバー人材センターの就業延人員</td> <td>64,553人/年（H30）</td> <td>79,600人/年</td> </tr> <tr> <td>仕事や家庭以外に所属するコミュニティがあると感じている人の割合</td> <td>54.0%</td> <td>70.0%</td> </tr> <tr> <td>合計特殊出生率</td> <td>1.79（H29）</td> <td>1.93（R5）</td> </tr> </tbody> </table>	主な指標	R元	R6	袋井・森地域シルバー人材センターの就業延人員	64,553人/年（H30）	79,600人/年	仕事や家庭以外に所属するコミュニティがあると感じている人の割合	54.0%	70.0%	合計特殊出生率	1.79（H29）	1.93（R5）	<h3>3-1 人生100年時代「全世代が活躍するまちづくり」</h3> <p>世代を問わず生涯を通じて全ての人が意向、能力、健康状態に応じて活躍できるまちをつくるため、就労・活躍機会の拡大、健康維持・増進、環境の整備等に取り組む。</p> <h3>3-2 支え合う多様な仲間づくり</h3> <p>高齢化の進展下、介護、子育て、防災などで互いに支え合えるまちをつくるため、コミュニティセンター等を拠点として日頃から安心できる仲間づくり、互助の仕組みづくりを進める。</p> <h3>3-3 多様性を強みとするまちづくり</h3> <p>外国人市民や障がい者、女性の活躍が期待される中、高齢者、学生あるいは地域外に住む関係人口など多様な価値観を尊重し、多様性を本市の魅力や発展への活力としていくため、多文化共生、男女共同参画等の取組や環境整備を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生涯活躍のまちづくりプロジェクト（人生100年時代の地域経営のあり方（仮称）の探究、健康経営の推進、高齢者の多様なニーズに応じた就労機会確保<sup>ほか</sup>）</li> <li>■ 支え合い・つながり創出プロジェクト（まちづくり協議会の活動支援、NPOや市民活動団体の活動・連携支援、ICTを活用したコミュニティ形成の支援<sup>ほか</sup>）</li> <li>■ 「共創社会」加速化プロジェクト（外国人市民への支援、男女平等参画社会の推進、子育てと仕事の両立支援、障がい者への理解と地域の交流の支援<sup>ほか</sup>）</li> </ul>	
主な指標	R元	R6													
袋井・森地域シルバー人材センターの就業延人員	64,553人/年（H30）	79,600人/年													
仕事や家庭以外に所属するコミュニティがあると感じている人の割合	54.0%	70.0%													
合計特殊出生率	1.79（H29）	1.93（R5）													